

真空計校正サービスのご案内

アルバック規格品事業部品質保証部標準校正室は、真空領域の真空計校正事業者として、日本で初めて JCSS 認定を受けました。

アルバック規格品事業部では、真空を創る・測る製品をお客様に提供しております。

真空圧力を測るために不可欠な真空計の試験・校正データの信頼性をより確実にするため、標準校正室を立ち上げ、ISO/IEC17025 への対応を進めてまいりました。そして、2010年6月3日「圧力（真空計）」区分において「日本初」の JCSS 校正登録事業者、かつ、国際 MRA 対応認定事業者となりました。これにより、弊社の校正サービスは、品質面・技術面において国際レベルとして認められ、高品質な校正サービスをお客様に提供することができるようになりました。



当社規格品事業部 標準校正室は、認定基準として JIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を用い、認定スキームを ISO/IEC 17011 に従って運営されている JCSS の下で認定されています。JCSS を運営している認定機関 (IA Japan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。当社規格品事業部 標準校正室は、国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。JCSS 0258 は、当標準校正室の認定番号です。

特長

アルバックにおける国際 MRA/JCSS 校正サービスについて

- ▶ ISO/IEC17025 に基づいた JCSS 校正を実施しております。
- アルバック規格品事業部品質保証部標準校正室は「圧力（真空計）」区分の MRA/JCSS 認定校正事業者です。JCSS 特定二次標準器及び常用参照標準器を用いて、弊社製品の真空計はもちろん、お客様が現在お持ちの真空計の校正を行い、JCSS 標準付の証明書を発行しております。

校正手法の区分の呼称	種類	校正範囲	最高測定能力 (信頼の水準約95%)
真空計	粘性真空計	0.1mPa以上1mPa未満	2.0%
		1mPa以上10mPa未満	1.0%
		10mPa以上0.1Pa未満	0.8%
		0.1Pa以上1Pa以下	0.7%
	隔膜真空計	1Pa以上100Pa未満	1.5%
		100Pa以上10kPa未満	0.6%
	電離真空計	10kPa以上133kPa以下	0.3%
		0.1mPa以上1mPa未満	5.0%
熱伝導真空計	1mPa以上1Pa以下	3.0%	
	1Pa以上1kPa以下	20%	



真空計校正サービスのご案内

1 JCSSとは(計量法校正事業者登録制度)

▶“試験・校正に必要な技能を有している事業者”を登録する制度です。
 JCSS(※1)とは、認定機関であるNITE: IAJapan(※2)が計量器を試験・校正する事業所に対して、ISO/IEC17025の基準を満たし特定の分野の試験・校正を行う技術力やトレーサビリティが確実であることを審査し、JCSS校正事業者として登録する制度のことです。当社は「圧力(真空計)」区分においてJCSSに登録されていますので、真空計の試験・校正に必要な技能があるということ国から認められていることとなります。
 ※1 JCSS(Japan Calibration Service System):計量法校正事業者登録制度
 ※2 NITE: IAJapan (National Institute of Technology and Evaluation International Accreditation Japan): 独立行政法人製品評価基盤機構認定センター

2 ISO/IEC17025とは

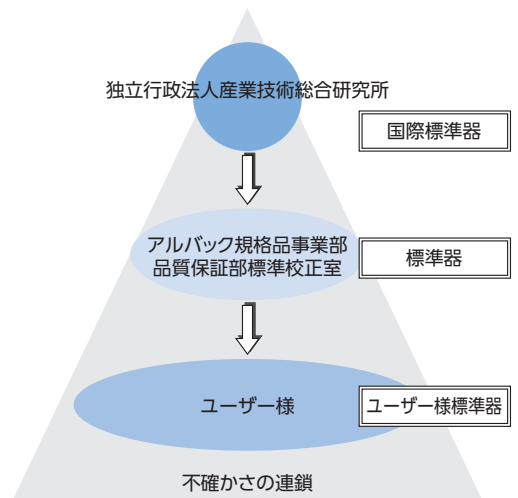
▶校正機関が試験・校正を行うために必要なこと(技能・システム)
 試験所及び校正機関が試験又は校正を行う能力についての一般要求事項を規定した国際規格です。①マネジメントシステムの運営、②技術的に適格で妥当な結果を出す能力があること、を要求しています。これは校正結果のトレーサビリティを確実にするための規格になります。この規格を満たした校正事業者は、トレーサビリティのとれた校正サービスを提供することができます。
 ISO17025は、物造りの品質マネジメントシステムISO9001に②の技術能力に関する項目が加えられたものと考えられます。

3 MRAについて(校正事業者認定の国際相互承認)

▶試験・校正結果やその信頼性が国境を超えて認められます。
 海外の認定機関のメンバーからなる国際評価チームによる厳格な相互評価(※)を受けることで、国の認定機関は国際相互承認(国際MRA: Mutual Recognition Agreement)を受けます。
 IAJapanではILAC及びAPLACのMRAに署名していますので、JCSS標準付校正証明書はその加盟国において通用し易いものになります。
 弊社は、IAJapanよりMRA認定を受けております。
 ※認定機関(IAJapan)の運営するプログラム(JCSS)が国際規格及び国際基準に適合されていること、加盟国の上位機関同士で基準の値を評価し合い、規定値内に入っていることが必要です。

4 JCSS標準の意味、JCSS標準付校正証明書とは

▶国家標準へのトレーサビリティが保証されています。
 認定を受けた校正事業者は登録された校正方法の範囲内において、JCSS標準付校正証明書を発行することができます。JCSS標準が付くことで、校正技能を有している事業者であること及び国家標準へのトレーサビリティが維持されていることが証明されます。そのため、お客様に上記のことを示しやすくなると共に、上位の国際又は国家標準へのトレーサビリティを遡って調べる必要がありませんので、お客様の手を煩わせることはありません。



ILAC/MRA署名認定機関(2010年4月現在)及び APLAC/MRA署名認定機関(2010年5月現在)

国名	認定機関	国名	認定機関
アイルランド	INAB	イタリア	ACCREDIA
イタリア	COPA	イギリス	UKAS
オーストリア	BMWA	オランダ	RvA
ギリシャ	ESYD	スイス	SAS
スウェーデン	SWEDAC	スペイン	ENAC
チェコ	CAI	デンマーク	DANAK
ドイツ	DAKKS	ノルウェー	NA
フィンランド	FINAS	フランス	COFRAC
ベルギー	BELAC	ポーランド	PCA
ポルトガル	IPAC	ルーマニア	RENAR
ロシア	AAC Analytica	韓国	KOLAS
香港	HKAS	台湾	TAF
中国	CNAS	日本	IAJapan
日本	JAB	日本	VLAC
スリランカ	SLAB	スロバキア	SNAS
スロベニア	SA	トルコ	TURKAK
チュニジア	TUNAC	パキスタン	PNAC
アラブ首長国連邦	DAC	イスラエル	ISRAC
エジプト	EGAC	グアテマラ	OGA
コスタリカ	ECA	南アフリカ	SANAS
マレーシア	SM	フィリピン	PAO
ベトナム	BoA	インド	NABL
インドネシア	KAN	バブニューギニア	PNGLAS
シンガポール	SAC	タイ	BLA-DSS
タイ	BLQS-DMSc	タイ	NSC-ONAC
タイ	DSS	タイ	DMSc
オーストラリア	NATA	ニュージーランド	IANZ
カナダ	CALA	カナダ	SCC
アメリカ	A2LA	アメリカ	ACLASS
アメリカ	IAS	アメリカ	NVLAP
アメリカ	L-A-B	アメリカ	PJLA
アメリカ	ASCLD/LAB	メキシコ	ema
アルゼンチン	OAA	ブラジル	CGCRE/INMETRO
キューバ	ONARC		



JCSS校正証明書

株式会社アルバック 規格品事業部

www.ulvac.co.jp

国内販売: アルバック販売株式会社
 ■東日本営業統括部 TEL 03-5218-6011(代)
 ■西日本営業統括部 TEL 06-6397-2281(代)
 海外販売: 株式会社アルバック
 ■規格品事業部 TEL +81-467-89-2261

お問い合わせ